

山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620
Yamanashi Chuo Rotary Club
2013-2014

会長 田中 雅承 副会長 原田 哲
幹事 樋貝 浩久 副幹事 田中 雅貴
会計 田中 直行 会報 原田 哲

事務所
〒409-3812 山梨県中央市乙黒 158-2
(山梨ビジネスパーク (株)カルク内)
TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>
FAX 055-273-8010 E-mail rotary@yamachuo-rc.net

ロータリーを實踐し



みんなに豊かな人生を

2013～2014 RI会長 ロンD.バートン
第2620地区ガバナー 志田 洪顯
例会日・毎週金曜日 12:30～13:30
例会場・(株)カルク (055-273-5344)

Weekly Report

2013年 9月 20日 第1599回例会

本日のプログラム

会員卓話

フリートーク

会長挨拶

「東日本大震災地・被災者を第1優先」

会長 田中 雅承

2020年のオリンピック開催地が多くの人達の努力の中「日本」に決まり期待は大きく膨らんでいる事は喜ばしい事です。

これから7年かけてインフラの整備、選手の育成、国民のおもてなしの醸成など色々と経済の改革、国家の品格が問われる事は間違い有りません。

その渦の中に東日本大震災で被災された方々が自宅にも帰れず仮住まいや親戚に身を寄せている方、被災による病院生活を送る方、生活の糧である正規に仕事に就けない方などの支援がしっかり出来ない事を念頭において先に対処すべきだと思います。

2020年まで7年間は日本経済にとって予想すら出来ない乱高下、ジェットコースター並みの速さで動くのではないかと危惧する面もあります。

年金制度の問題、雇用制度の問題、生活食品の問題、それに消費税増税の問題等が国民の足かせである事、決して手放しでは喜べない状況です。

先ほども申し上げましたが、東日本大震災がこの9月11日を迎えて発生から2年半が過ぎようとしております。

現在でも避難生活を強いられている方々が、岩手県、宮城県、福島県3県で29万人もおり、一時でも早く安堵出来る生活に戻れる事を願ってやみません。

福島県では東京電力福島第1原発の汚染除去の遅れや、放射能汚染水漏れ問題が復興を妨げているのです。

福島県では県外避難者がマスコミに寄りますと5万2277人も居るとの状況を報道しております。

人道的立場から復興庁は被災者のために1日も早く対策を進める事を願う者です。

東京オリンピック開催招致について東京電力福島第1原発の放射能汚染が問題になり、その対策に政府が責任を持つと宣言したのですから「日本の品格」を損なわない様、存分に発揮して取り組んでくれると信じております。

ロータリアンとしての東日本大震災被災地のロータリークラブ・ロータリアンも多く被災者が現在もおります、ロータリー誌に頑張っておられる記事が掲載され、少しは安堵する所もありますが、被災地に是非職業奉仕を……。

幹事報告

幹事 樋貝 浩久

1. 第2620地区志田ガバナー事務所より「第2回新会員研修会」の連絡が届いておりますので、回覧致します。
2. 第2620地区高野孫左エ門直前ガバナー事務所より平成25年11月15日(金)当クラブの例会に「会長賞」の伝達に高野孫左エ門直前ガバナーがおいでになるとの連絡がありましたので、お知らせ致します。
3. 10月11日(金)の「職場訪問例会」は甲府東洋(株)を職場訪問致します、例会は甲府東洋(株)の会議室を使用させて頂きますので、宜しくお願い致します。
尚、昼食等詳細につきましては後日連絡致します。
4. 例会変更のお知らせ
☆甲斐シティーロータリークラブ☆
9月25日(水)の例会は「山縣大式書道展表彰式例会」の為
時間・会場の変更。
日 程:9月23日(月)
点 鐘:午後4時
会 場:「甲斐市役所」
☆南アルプスロータリークラブ☆
10月9日(水)の例会は「湖畔清掃例会」の為 会場の変更。
点 鐘:午後12時30分
会 場:「伊奈ヶ湖」
湖畔・植樹地域周辺
☆山梨ロータリークラブ☆
9月18日(水)の例会は「夜間例会」の為 時間・会場の変更
点 鐘:午後6時30分
会 場:割烹「秋月」
(Tel0553-22-2036)
9月25日(水)の例会は「特別休会」です。

前回の例会記録

第1598回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
10名	0名	8名	2名	80%	1名	100%

届出欠席者 竹野 満君 田中 雅貴君
届出失念者 なし
出席免除者 なし
メイクアップ 田中 雅貴君
ビジター なし
備考 なし
ニコニコBOX なし

会員卓話

「ニュージーランドでは」(1)

石原 満彦

今回の卓話は、NZの小学校での子供の教育の様子について話していこうと思います。

まず、日本とNZの小学校では、えっそうなの!?というカルチャーショックを受けたことが多々あったのを覚えています。

例えば、NZの小学校では、満5歳の誕生日に入学するシステムで日本の小学校のように親が一生懸命になる特別な入学式や卒業式というものがない、教室には黒板や個々の机や椅子もなく、いつもグループ活動の時のように何組かの島に分けて置かれていたり又教科書というものがなかったり等その他皆さんにお話したいことがいっぱい、どこから話していいものやらということで、今お話させてもらった学校のシステムについての入学にまつわる部分とそれ以外の部分や授業の様子等は次回また私の卓話の番が来た時に順を追ってお伝えしていこうと思っています。(次回へつづく)

次回のプログラム 9月27日(金)

会員卓話

原田 哲会員